

第6章 計画の推進

1. 評価指標

この計画の成果を確認するための指標項目及び計画期間の最終年度（令和9年度）に達成すべき目標値を次表のように定めます。

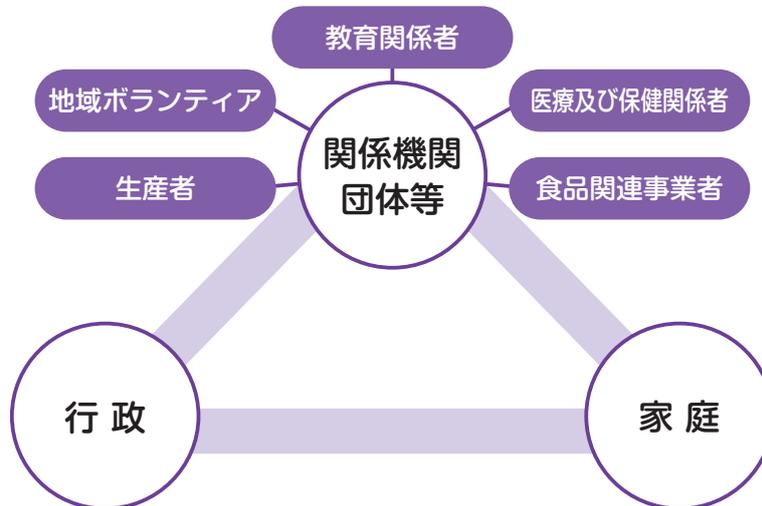
目 標	指標項目	現状値 (R3)*	目標値 (R9)
1 食事の重要性、喜び、楽しさが理解できる	食事をおいしく食べている人の割合	健康基礎調査 95.0% (R1)	増加
	朝食を摂る児童生徒の割合 平日 小学生・中学生	朝食に関わる実態調査 小学生 97.9% 中学生 95.7%	維持
	毎日朝食を食べる3歳児の割合	3歳児（保護者）の食生活等実態調査 94.7%	増加
	1日3食食べている人の割合	健康基礎調査 88.6% (R1)	95% (R6)
	80歳で自分の歯が20本以上ある人の割合	ぎふさわやか口腔健診結果 66.4%	75%
2 望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自己管理ができる	メタボリックシンドローム予備群と該当者の割合	特定健診・特定保健指導実施結果総括表 33.0%	減少
	20～39歳の人の中で主食・主菜・副菜がそろっている食事を1日2回以上摂っている人の割合	健康基礎調査 65.7% (R1)	70% (R6)
	低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合	健康基礎調査 21.6% (R1)	22%以下 (R6)
3 正しい知識・情報により、食品の品質や安全性等について自ら判断できる	加工食品や外食の栄養成分表示を参考にしている人の割合	健康基礎調査 48.0% (R1)	65% (R6)
	ヘルシーメニューや栄養情報を提供できる新規店舗数	—	100店舗 (R5からの累計)
4 食物を大切にし、食物の生産等に関わる人々に感謝できる	ごみ減量・リサイクル講座 参加者数	2,088人	増加
	食ベキリ協力店・協力企業登録店舗数	110店舗	290店舗
5 食事のマナーを身につけ、食事を通じた人間関係を大切にする	朝食をひとりで食べる3歳児の割合	3歳児（保護者）の食生活等実態調査 10.8%	5%
	朝食を家族とともに食べる児童生徒の割合 休日 小学生・中学生	朝食に関わる実態調査 小学生 47.4% 中学生 37.2%	増加
	食生活改善推進員自主活動開催回数・参加者数	274回・4,071人	増加
6 市の特産品や日本の食文化・歴史が理解でき、生活に反映することができる	ぎふベジを知っている人の割合	38.0%	増加
	ぎふ地産地消推進の店（ぎふ〜ど）認定店舗数	149店舗	増加

* 出典のある場合は上段に記載、R3の実績値がない場合は直近の実績値を年度とともに記載

2 食育推進ネットワーク

食育の推進にあたっては、家庭だけでなく、行政、教育関係者、医療及び保健関係者、生産者、食品関連事業者、地域ボランティア等の多方面での分野の関係者が相互に理解を深め、連携・協働して多様な取り組みを推進していくことが重要です。

● 食育推進ネットワークのイメージ



3 推進体制

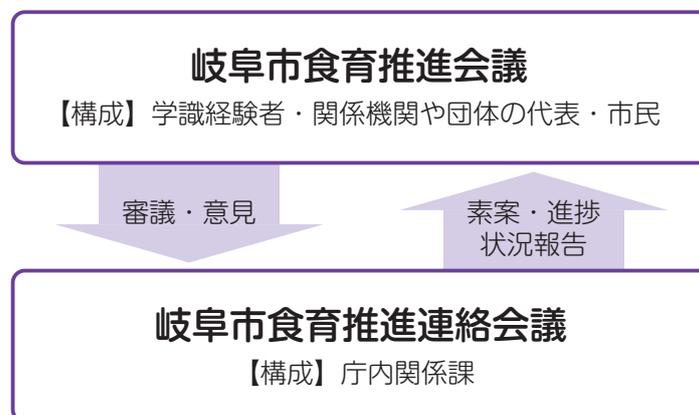
(1) 岐阜市食育推進会議

岐阜市食育推進会議条例に基づき設置する「岐阜市食育推進会議」において、定期的に進捗状況を評価していくこととします。

(2) 岐阜市食育推進連絡会議

食育を総合的かつ計画的に推進するため、庁内組織である「岐阜市食育推進連絡会議」において、計画の進行を管理します。

● 岐阜市食育推進会議と岐阜市食育推進連絡会議との関係



4 計画の進捗管理

岐阜市食育推進連絡会議において関係部署の事業実施状況や評価指標の推移を取りまとめ、岐阜市食育推進会議に報告し、ここでの評価に基づいて必要な改善を図りながら計画を推進していくこととします。